

1. 課題名

T790M 陽性非小細胞肺癌における PD-L1 タンパク発現のオシメルチニブにおける効果予測因子としての役割：前向き観察研究

2. 担当科 申請者

呼吸器内科 藤井 雅人

3. 研究期間

2017 年月日から 2021 年 12 月まで

4. 目的

T790M 陽性非小細胞肺癌症例における PD-L1 蛋白発現のオシメルチニブにおける有効予測因子としての役割を明らかにする。

対象患者：日常診療において必要とされた再生検により EGFR 遺伝子 T790M 陽性であることが判明している方、オシメルチニブの投与を受ける方

5. 利用又は提供する試料・情報、提供方法

試料・情報：患者背景、患者情報、検査データ

提供方法：FAX、電子的配信

6. 研究代表者

浜松医科大学 内科学第二講座 須田 隆文

7. 個人情報管理者

浜松医科大学 内科学第二講座 須田 隆文

8. 倫理委員会

本研究の実施については平成 29 年 6 月 5 日に当院医療倫理審査委員会にて承認された。

<当施設の研究責任者（相談窓口）>

所 属： 呼吸器内科

研究責任医師： 藤井 雅人

電話番号： 054-253-3125（代表）

<研究に関する資料の入手や閲覧・問い合わせ>

相談窓口： 臨床試験管理センター

電話番号： 054-253-3125（代表）

F A X : 054-253-8206